

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
中間評価報告書

研究開発課題名	薬用植物の産地拡大に向けた生産技術の開発研究
代表機関名	学校法人東京農業大学
研究開発代表者名	菱田 敦之
全研究開発期間	令和5年度～令和9年度（予定）

1. 総合評価

- ・優れている

【評価コメント】

薬用植物栽培化に向けて、生産性阻害要因の解明、栽培技術の基盤整備、優良系統育成技術開発、医薬品原料産地化検討の多岐にわたる研究項目を、研究開発代表者が中心となり、研究者及び参画企業と密に連携して着実に進捗している。各地域とも連携して社会ニーズに対応し、薬用植物国産化に向けた成果も出つつあり、また、優良系統株の作出にも目処が立っており、評価できる。今後、科学的根拠に基づいた薬用植物の産地拡大に寄与することを期待する。

生薬の栽培は時間の掛かる研究だけに、残りの研究開発期間で、これまでの成果をどのような形でまとめるかについて、生産者等への意識調査結果及び参画企業や業界との協議も踏まえて、戦略的な考えをまとめ、研究を進めていただきたい。また、本課題における成果を広く周知するなかで、生産性阻害要因の解明の成果をどのように反映させていくかについても検討することを望む。

以上